

2016年度 九州大学 前期 日本史

〔1〕 ヤマト政権と東アジア，奈良・平安時代の仏教

| | |
|-------|---|
| 出題範囲 | 古代の政治・外交・文化史 |
| 難易度 | ★★☆☆☆ |
| 所要時間 | 20分 |
| 傾向と対策 | 第1問は，古代の政治・外交から文化までさまざまなジャンルから出題された。しかし，必要とされる知識は基本的なものばかりであったので，1問1問丁寧に解答したい。問5・問8の記述問題に関しては，字数が少ないため簡潔にまとめる力が求められた。問われている内容を整理し，内容の薄い解答にならないように気をつけたい。全体的に教科書レベルの出題といえるので，基本的なことだが普段から教科書をしっかり読み込むようにしよう。 |

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について，英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 80 | 0 | 年 |
| 8 | 00 | 年 |

1200年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 12 | 00 | 年 |
|----|----|---|

ASEANの場合

| | | |
|----|----|---|
| AS | EA | N |
|----|----|---|

解答

- A
- 問1 宋書
- 問2 安東大將軍
- 問3 稻荷山古墳（別解：江田船山古墳）
- 問4 須恵器
- 問5 地方豪族を国造に任命して現地支配を認め，屯倉や名代・子代の部を管理させたほか軍事活動にも動員した。（49字）
- B
- 問6 正倉院
- 問7 鎮護国家 修験道 曼荼羅（別解：両界曼荼羅・マンダラ）

問8 平安中期以降、戦乱や疫病等の社会不安の増大や末法思想の影響により、現世利益よりも来世での救いを求める風潮が強まったから。(60字)

A

問1 難易度：★★★★☆

解答

宋書

解説

史料は『宋書』倭国伝である。5世紀に倭の五王が朝貢し、特に倭王武が朝鮮半島を含む広大な土地の支配者を自称していることが書かれている。教科書などでよくみる史料だが、日本についての最初の記述がある『漢書』地理志や奴国王が金印を授かったことが書かれている『後漢書』東夷伝、卑弥呼が登場する『魏志』倭人伝と混同しないようにしたい。

問2 難易度：★★★★☆

解答

ア 安東大將軍

解説

武は、自らを安東大將軍と称し中国に倭と朝鮮半島の支配権を認めてもらおうとした。これには、中国の後ろ盾を得て朝鮮半島南部における外交上の立場を有利にする狙いがあったとされる。

史料の一部を問う問題は頻出であるので、重要な文献はよく読み込んで暗記しておこう。

問3 難易度：★★★★☆

解答

稻荷山古墳（別解：江田船山古墳）

解説

埼玉県の稲荷山古墳出土の鉄剣と熊本県にある江田船山古墳出土の鉄刀は、5世紀の遺物で「大王」の記載がみられる。ともに「獲加多支鹵大王」と記されており、これは倭王武・雄略天皇だとされている。埼玉県と熊本県でこうした出土品が見つかったことは、5世紀末にはヤマト政権の支配が九州北部から関東にまで及んでいた、ということを示唆している。

問4 難易度：★★★★☆

解答

須恵器

解説

朝鮮半島からの渡来人によって、5世紀には須恵器の製造技術がもたらされた。須恵器は灰色で硬く、ろくろ

を使って形をつくり、のぼり窯で 1000 度以上の高温で焼かれて出来上がる。同時代に使われた日本従来の赤色の土器である土師器^{はじき}と区別したい。

問 5 難易度：★★★★☆

解答例

地方豪族を国造に任命して現地支配を認め、屯倉や名代・子代の部を管理させたほか軍事活動にも動員した。

(49 字)

設問の要求

字数 50 字以内

主題 6 世紀ヤマト政権の国内支配

解説

ヤマト政権がどのように日本全国を支配したかを問う問題である。教科書にまとまった記述があるので確認しておこう。

ヤマト政権は地方豪族を服属させると、大王直轄領の屯倉と大王直属民である名代・子代の部を管理させた。また、地方豪族を国造に任命して支配権を認める代わりに軍事にも動員し、子女を舎人^{とねり}・采女^{うねめ}として大王のもとに出仕させるなど、ヤマト政権への奉仕を義務づけた。国造が朝廷に地方の特産品を貢進したことなども、字数に余裕があれば解答に盛り込んでもよい。

以上の内容をまとめて解答しよう。

B

問 6 難易度：★★★★☆

解答

正倉院

解説

断面が 3 角形の木材を井の字型に組んだ校倉造の代表的遺構の正倉院は、聖武天皇(位 724～49)の遺品を収蔵する宝庫であり、東大寺宝庫群で唯一現存するものである。北倉・中倉・南倉があり、北倉と南倉が校倉造^{あざくらづくり}でできている。

問 7 難易度：★★★★☆

解答

イ 鎮護国家 ウ 修験道 エ 曼荼羅 (別解：両界曼荼羅・マンダラ)

解説

イ 鎮護国家が入る。奈良時代には、仏教によって国を安定させようとする鎮護国家思想が広まった。

ウ 修験道が入る。平安時代に入ると、天台宗や真言宗といった密教の台頭により山間部にも寺院がつくら

れるようになった。こうした流れと従来の山岳信仰が結びつき、山岳修行によって呪術を身に着ける修験道が生まれた。代表的な修験道の発展地としては、奈良県吉野の大峰山おおみねさんや北陸の白山はくさんなどが挙げられる。

エ 曼荼羅まんだらが入る。密教芸術で重要な仏教絵画といえば曼荼羅である。曼荼羅は、大日如来の知徳を表す金剛界、慈悲を表す胎藏界を図化したもので、密教の世界観を表している。

問8 難易度：★★★★☆

解答例

平安中期以降、戦乱や疫病等の社会不安の増大や末法思想の影響により、現世利益よりも来世での救いを求める風潮が強まったから。(60字)

設問の要求

字数 60字以内

主題 浄土教が流行した理由

解説

平安中期には律令制が動揺して地方政治が混乱し、疫病や政変などの厄災が相次いだことから社会不安が増大していた。そうした世情と仏教の末法思想が結びつき、現世で利益を得るよりも来世で救われたいという風潮が強まっていった。

浄土教は、阿弥陀仏の信仰によって極楽浄土へ往生し悟りを開くことを説くものであり、上記のような世相において広く受け入れられた。院政期に入っても上皇らの信仰を集め、院政期文化には浄土教の影響が強く反映されている。

以上の内容をまとめて解答したい。また、浄土教の僧侶や関係する作品などを以下にまとめるので参考にしてほしい。

- ・空也(903～972)…市の聖とよばれた。
- ・源信えしんそうず(恵信僧都)(942～1017)…『往生要集』を著した。
- ・慶滋保胤よししげのやすたね(?～1002)…往生伝『日本往生極楽記』を著した。

(下谷佳楠, 瀧拓也, 浦地智暉)

2016年度 九州大学 前期 日本史

〔2〕 室町時代の対外関係

| | |
|-------|--|
| 出題範囲 | 中世の外交・文化・経済史 |
| 難易度 | ★★☆☆☆ |
| 所要時間 | 20分 |
| 傾向と対策 | 第2問は、室町時代の対外関係について述べたリード文から中世の幅広い分野を問う問題であった。一問一答問題に関しては、それほど難易度は高くなく、取りこぼしを少なくしたいところである。記述問題に関しても、頻出のテーマであるので、容易に書くことのできる問題であっただろう。このように比較的簡単な大問では、できるだけ失点を少なくすることが大切である。 |

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 80 | 0 | 年 |
| 8 | 00 | 年 |

1200年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 12 | 00 | 年 |
|----|----|---|

ASEANの場合

| | | |
|----|----|---|
| AS | EA | N |
|----|----|---|

解答

問1 九州探題

問2 日元通交では、僧侶や商人らの私的な往来が盛んであったが、明は海禁政策をとり、倭寇対策のために朝貢形式の勘合貿易のみ認めたため、自由な日明間往来ができなくなった。(80字)

問3 応永の乱

問4 足軽

問5 石見大森銀山（別解：但馬生野銀山）

問6 木綿

問7 寧波の乱

問8 天橋立図

問9 精銭のみを選ぶ撰銭の流行によって、円滑な流通が阻害されたため、撰銭令を發布して改善しようとした。(48字)

問1 難易度：★★★★☆

解答

九州探題

解説

南北朝期、**後醍醐天皇**(位 1318~39)の子**懐良親王**(1330?~83)を中心とする南朝勢力が依然強かった九州を平定するために、3代将軍**足利義満**(任 1368~94)が**今川貞世**(**了俊**) (1326~?)を九州探題に任命して派遣した。しかし、のちに、権力の増大を恐れた義満により、貞世は九州探題を解任された。

問2 難易度：★★★★☆

解答例

日元通交では、僧侶や商人らの私的な往来が盛んであったが、明は海禁政策をとり、倭寇対策のために朝貢形式の勘合貿易のみ認めたため、自由な日明間往来ができなくなった。(80字)

設問の要求

字数 80字以内

主題 日明通交の実態と明の政策

解説

瑞溪周鳳が「恨むべきかな」といっている状況は、前文の「勘合有りてより以来、使船の外は決して往来無し」に表現されている。つまり、周鳳は自由に日明間を往来することができないことを「恨むべきかな」といっているのである。このような状況になった原因は日元通交を踏まえた明の政策にある。日元通交に関しては、蒙古襲来以降、両国の間に正式な国交は結ばれなかったが、僧侶や商人などの私的な往来が盛んであった。さらに、南北朝期には倭寇とよばれた海賊集団が朝鮮半島および中国大陸の沿岸部で略奪を繰り返したり、密貿易を行ったりし、周辺諸国の悩みの種となっていた。一方で、1368年に明が建国されると、明は漢民族を中心とする国際秩序の再建をもくろんで、周辺諸国に通交を求めた。前述のような日元間の私的な往来や倭寇の横暴といった状況を受けて、明は海禁政策をとって私貿易を禁じ、勘合とよばれる証書をもった遣明船が行う朝貢形式の貿易のみを認めるようにしたのである。

以上をまとめて解答しよう。

問3 難易度：★★★★☆

解答

応永の乱

解説

3代将軍足利義満は権力をつけてきた有力守護の統制を行っていた。そのうちの1つが、**応永の乱**である。応

永の乱では1399年に**大内義弘**(1356～99)が反乱を起こしたが、義満による討伐を受け、滅ぼされた。その他の義満による有力守護統制の例としては、東海3カ国の守護を兼ねた**土岐康行**を滅ぼした1390年の**土岐康行の乱**や、西国11カ国の守護を兼ねた山名一族の**山名氏清**(1344～91)らを滅ぼした1391年の**明徳の乱**がある。

問4 難易度：★★★★☆

解答

足軽

解説

応仁の乱の頃、略奪を行っていた軽装歩兵とは**足軽**のことである。このような足軽の特徴を表すものとして、『**真如堂縁起**』では、足軽が真如堂で略奪している場面が描かれている。

問5 難易度：★★★★☆

解答

石見大森銀山（別解：但馬生野銀山）

解説

16世紀に開発された西日本の銀の産出地としては、島根県の**石見大森銀山**と兵庫県の**但馬生野銀山**が有名である。ここではどちらを解答してもよいだろう。

問6 難易度：★★★★☆

解答

木綿

解説

木綿は日朝貿易で日本に大量にもたらされ、民衆の衣料に使われるなど広く普及していき、明からも輸入された。木綿は国内でも戦国時代から盛んに生産されるようになった。また、日朝貿易の朝鮮からの代表的な輸入品としては、**木綿・大蔵経**があり、日本からの代表的な輸出品としては、**銅・硫黄・香木**があった。

問7 難易度：★★★★☆

解答

寧波の乱

解説

1523年、**大内氏**と**細川氏**が日明貿易の主導権を争った事件を、事件の起こった中国の港町の地名にちなんで**寧波の乱**という。この争いに勝利した大内氏はこれ以降貿易を独占するものの、16世紀半ばに大内氏も滅ぼされて、日明貿易は断絶した。

問8 難易度：★★★★☆

解答

天橋立図

解説

「日本三景の一つ」、「雪舟の描いた水墨図」から、答えは『天橋立図』であることがわかる。雪舟(1420～1506?)の水墨画の作品として有名なものは、これのほかに『四季山水図巻』、『秋冬山水図』があるのでしっかり復習しておこう。

問9 難易度：★★★★☆

解答例

精銭のみを選ぶ撰銭の流行によって、円滑な流通が阻害されたため、撰銭令を発布して改善しようとした。(48字)

設問の要求

字数 50字以内

主題 撰銭令が出された目的

解説

室町時代には、商品流通の発展で貨幣需要が高まっていたため、粗悪な私鑄銭しちゅうも流通するようになった。そのため、こうした悪銭を避けて、精銭せいせん(良銭)を選ぶ撰銭えりぜにという行為が盛んに行われ、円滑な流通に悪影響を与えていた。これに対応するため、幕府・戦国大名などは一定の悪銭の流通の禁止・悪銭と精銭の混入比率の決定などを定めた撰銭令を頻繁に発布していた。

以上をまとめて解答しよう。

(浦地智暉, 金子智実, 藤森千佳)

2016年度 九州大学 前期 日本史

〔3〕 近世における洋学

| | |
|-------|--|
| 出題範囲 | 近世の外交・文化史 |
| 難易度 | ★★★★☆☆ |
| 所要時間 | 20分 |
| 傾向と対策 | 本問では、杉田玄白の『蘭学事始』をはじめとする近世における洋学について述べたリード文から関連する外交・文化史を問われた。難易度は全体として標準的であった。論述問題は、単に知識を並べ立てて答える問題ではなく、基本的な知識を前提として歴史の因果を推測する良問であった。語句記述問題で取りこぼしがないように知識を固めたら、九州大学の過去問はもちろん、類似した形式である北海道大学の過去問などを題材として、こうした論述問題への対応力を磨くことを強く勧める。 |

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 80 | 0 | 年 |
| 8 | 00 | 年 |

1200年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 12 | 00 | 年 |
|----|----|---|

ASEANの場合

| | | |
|----|----|---|
| AS | EA | N |
|----|----|---|

解答

- A
- 問1 イエズス会
- 問2 蛮書和解御用
- 問3 采覧異言
- B
- 問4 万有引力説（別解：地動説）
- 問5 青木昆陽
- 問6 毎年のオランダ商館長の江戸参府に伴って、その通訳を務めるオランダ通詞も江戸に滞在していたから。
(47字)

C

問7 異国船打払令

問8 アヘン戦争での清の大敗が伝わり、西洋の軍事的脅威を実感した藩士たちが、洋学を通して技術の吸収や情報の入手を図ったから。(59字)

A

問1 難易度：★★★★☆

解答

ア イエズス会

解説

『ドチリナ・キリシタン』なる著作を知らなくても、日本においてこうした積極的な布教活動を展開したキリスト教会派はイエズス会しかないであろう。イエズス会は耶蘇会ともよばれ、大友義鎮(宗麟)(1530~87)などの大名の保護を受けながら布教活動を行った。リード文に登場するヴァリニャーニ(1539~1606)もイエズス会の宣教師である。

問2 難易度：★★★★☆

解答

蛮書和解御用

解説

1811年に洋書翻訳機関として天文方に設置された施設は蛮書和解御用である。この蛮書和解御用が幕末期には蕃書調所になり、のちに洋書調所ついで開成所に発展していった。開成所は明治政府のもとで開成学校となり、さらに東京大学となる。細かい話だが、蛮書和解御用と蕃書調所の「ばん」の字の違いに注意して覚えよう。

問3 難易度：★★★★☆

解答

采覧異言

解説

新井白石(1657~1725)の著作のうち、世界地理に関するものといえば『采覧異言』である。新井白石の著作はとて多く、このほかにも歴史研究書の『読史余論』、蘭学の先駆となった『西洋紀聞』、『日本書紀』の解釈書である『古史通』、自伝である『折りたく柴の記』など、内容と結びつけて確実に暗記しておこう。

B

問4 難易度：★★★★☆

解答

万有引力説（別解：地動説）

解説

志筑忠雄(1760～1806)の『暦象新書』に紹介されている西洋の物理学の学説はニュートン(1642～1727)の万有引力説である。やや苦しいが、天文学（特に天体運動について）も広義の物理学であると考えればコペルニクス(1473～1543)の地動説も正解になりうる。

問5 難易度：★★☆☆☆

解答

イ 青木昆陽

解説

甘藷（薩摩芋）の栽培方法を研究した蘭学者は、青木昆陽(1698～1769)である。徳川吉宗(任 1716～45)の蘭学奨励政策として、漢訳洋書の輸入制限の緩和と、青木昆陽・野呂元文(1693～1761)に蘭学を学ばせたことを覚えておこう。

問6 難易度：★★☆☆☆

解答

毎年のオランダ商館長の江戸参府に伴って、その通訳を務めるオランダ通詞も江戸に滞在していたから。(47字)

設問の要求

字数 50字以内

主題 明和初年頃に江戸でオランダ語を学ぶことができた理由

条件 下線部(d)に着目する

解説

まず年代に着目する。注釈より、これが1766年の出来事であると判断できる。次に設問の要求どおりに下線部に着目し、注釈を参照すると、オランダ商館長の宿泊所にいるオランダ通詞にオランダ語を学んでいるのだとわかる。ここまでくると問題の肝は、「なぜ江戸で学べたのか」という部分にあることがわかる。

もちろん「江戸にオランダ通詞が宿泊していたから」なのだが、これだけであると字数も足りない上にリード文を読み解いただけである。よってここで、「なぜオランダ人たちがこの時期に江戸に宿泊していたのか」を考えることにする。史料文中にある「恒例のごとく拝礼として蘭人江戸に来たりし」から、この答えが「鎖国」制下で長崎のオランダ商館長一行が江戸に滞在する理由、すなわち毎年の江戸参府であることに思考が至れば解答が導ける。

以上をまとめて解答する。

C

問7 難易度：★★★★☆

解答

異国船打払令

解説

高野長英(1804～50)らの批判の的となった1825年の幕府の法令は、陸地に近づいてきた船が異国船とわかれ
ば有無をいわず砲撃するという内容の異国船打^{うちばらい}払令である。高野長英や渡辺華山(1793～1841)は早い段階か
ら西洋の脅威を説き、西洋列強をいたずらに刺激しかねない幕府の政策を批判した。

問8 難易度：★★★★☆

解答例

アヘン戦争での清の大敗が伝わり、西洋の軍事的脅威を実感した藩士たちが、洋学を通して技術の吸収や情報
の入手を図ったから。(59字)

設問の要求

字数 60字以内

主題 各藩の藩士らが洋学者として登場した理由

条件 1842年頃の国際情勢を踏まえる

解説

今まで幕臣や医師などに限られていた洋学者が1840年頃に各藩に現れてきた理由を考える問題。問題文の誘
導に従い、1842年頃の国際情勢を考えることにする。

指定された年代の約25年後、1868年に江戸幕府が滅びるわけだが、その背景となった国際情勢はやはり西洋
列強の東アジア進出であろう。「外交」ではなく「国際情勢」と書かれているので、必ずしも日本が直接関係し
ていることとは限らないことにも留意する。この観点から考えると、1840年に清とイギリスの間で勃発したア
ヘン戦争を想起できるであろう。アヘン戦争での清の大敗が日本にも伝わって衝撃を与えたことは有名である。
なお、薩摩藩・肥前藩が西洋の軍事技術を吸収して独自の軍事力増強を図り始めるのもこの時期である。

こうして考えると、洋学は、脅威である西洋の技術・状況を知り、それを吸収するための方法として各藩にも
広まったのではないかと推測できる。

以上をまとめて解答する。

(釈迦戸雅史, 浦地智暉, 金子智実)

2016年度 九州大学 前期 日本史

〔4〕 九州大学文学部の歴史

| | |
|-------|---|
| 出題範囲 | 近代の政治・社会・文化史 |
| 難易度 | ★★★★☆ |
| 所要時間 | 20分 |
| 傾向と対策 | 九州大学の歴史と関連づけて、あらゆる分野の用語を問うた問題であった。近代以降の文化史は差がつきにくく、難問もみられた。論述も、文字数に対して内容をすべて詰め込もうとすると難しく感じたであろう。論点を端的に指摘できるように、普段から論述問題にも慣れ親しんでおこう。 |

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 80 | 0 | 年 |
| 8 | 00 | 年 |

1200年の場合

| | | |
|----|----|---|
| 12 | 00 | 年 |
|----|----|---|

ASEANの場合

| | | |
|----|----|---|
| AS | EA | N |
|----|----|---|

解答

A

問1 東北 三・一五事件

問2 東京専門学校

問3 統治権は無制限でなく、主体は法人としての国家に存在し、天皇は国家の最高機関として憲法に従い、統治権を行使するという学説。(60字)

問4 鈴木商店

B

問5 学徒出陣

問6 和辻哲郎

問7 師範学校

問8 緊縮財政政策や、輸出の振興によって、経済の自立を目指した。結果、インフレは収束し、財政は黒字化した。不況が深刻化した。(60字)

A

問1 難易度：★★★★☆

解答

ア 東北 イ 三・一五事件

解説

ア 東北が入る。難問である。原敬内閣(1918~21)は、高等教育の充実に尽力し、九州帝国大学と東北帝国大学に法文学部の設置を決定した。帝国大学令にもとづき、東北帝国大学に法文学部を設置したという史実は知らなくてもよいが、日本国内にある7つの旧帝国大学の名前をおさえておいて損はないだろう。

イ 三・一五事件が入る。1928年に起き、田中義一内閣(1927~1929)が共産党員らを大量に検挙した事件は、ほかならぬ三・一五事件である。

問2 難易度：★★★★☆

解答

東京専門学校

解説

早稲田大学は、大隈重信(1838~1922)が創立した東京専門学校を前身にもつ。1902年に早稲田大学と改称したのち、1920年に大学令によって早稲田大学は私立大学として認可された。

問3 難易度：★★★★☆

解答

統治権は無制限でなく、主体は法人としての国家に存在し、天皇は国家の最高機関として憲法に従い、統治権を行使するという学説。(60字)

設問の要求

字数 60字以内

主題 天皇機関説の説明

解説

天皇機関説とは、^{みのべたつきち}美濃部達吉(1873~1948)が『憲法講話』において唱えた学説である。天皇機関説は、政党政治の理論的根拠になった。国家は法人であり、天皇はその最高の機関として憲法にもとづいて統治権を行使するという法理論である。

のちの1935年、^{こくたいめいちょうせいめい}岡田啓介内閣(1934~36)による国体明徴声明によって天皇機関説は公的に否定された。これにより、政党内閣制は理論的根拠の1つを失った。

問4 難易度：★★★★☆

解答

鈴木商店

解説

1927年、金融恐慌が発生し、多額の負債を抱え倒産の危機に瀕していた鈴木商店は、経営が破綻した。当時の内閣である若槻礼次郎内閣(1926～27)は、鈴木商店に対する巨額の不良債権を抱えた台湾銀行を緊急勅令によって救済しようとしたが、枢密院の了承が得られなかった。台湾銀行は鈴木商店への新規貸出を停止し、鈴木商店は倒産に追い込まれた。

B

問5 難易度：★★★★☆

解答

ウ 学徒出陣

解説

太平洋戦争の局面が次第に悪化するにつれ、国民の生活の水準も低下し、戦争遂行が最優先の課題となり、徴兵の対象も拡大した。1943年には、大学・高等学校・専門学校に在学中の文科系学生の徴兵猶予を撤廃し、軍に徴集する学徒出陣を行った。女性や学校に残った学生も、軍需工場で働かされた(勤労働員)。

問6 難易度：★★★★★

解答

和辻哲郎

解説

和辻哲郎(1889～1960)は、近代の倫理学者である。日本の思想史などを研究し、『古寺巡礼』や『風土』などで独自の思想を展開した。

問7 難易度：★★★★☆

解答

師範学校

解説

師範学校令は、1886年の学校令のうちの1つである。学校令によって、小学校から大学までの学校体系が整備された。こうして初代文部大臣森有礼(1847～89)によって、国家主義教育が確立した。この時、尋常小学校の4年間は義務教育とされ、東京大学は帝国大学に改組された。

問8 難易度：★★★★☆

解答例

緊縮財政政策や、輸出の振興によって、経済の自立を目指した。結果、インフレは収束し、財政は黒字化した。不況が深刻化した。(60字)

設問の要求

字数 60字以内

主題 1949年前後における経済政策の内容とその影響

条件 年表を参考にする

解説

年表には、経済安定九原則・ドッジ＝ライン・単一為替レート・シャープ勧告の用語が見受けられる。これらの内容をすべて説明してしまうと、60字という文字数では到底足りない。それぞれの施策からわかる経済政策の意図や内容を考え、そこから派生する理由を端的に説明できるようにしよう。

中国における共産党勢力の急伸によって、アメリカ合衆国は日本の占領政策の転換を迫られた。日本を安定した国として復興させ、共産主義の防波堤とすることを試みた。その中で、経済的復興は喫緊の課題となった。その課題を解決するための内容が**経済安定九原則**であり、具体的な施策が**ドッジ＝ライン**である。そこでは、まったく赤字を許さない予算を強引に編成させ、財政支出の削減を図った。また、均衡予算を実現させるために、直接税中心主義や累進所得税制をおもにする税制改革を実施させた（**シャープ勧告**）。さらに、日本経済を国際経済と連結させるために、1ドル＝360円の単一為替レートを設定し、日本の国際競争力を強めることを狙った。これらの諸政策によって、**インフレ**（物価が上昇し、貨幣価値が下がること）は収束し、**国家予算は黒字化した**。一方で、**深刻なデフレ**を招くこととなり、**不況が深刻化した**。さらに、通貨流通量が減少し、企業にある資金が少なくなったため、**企業の倒産や失業者が増加した**。

以上をまとめて解答する。

(久米光仁, 浦地智暉, 金子智実)